

24 節気 7 2 候

24 節気 7 2 候は、季節の移り変りを知り、農作業の開始にとりかかるための目安として、いまから約 2200 年ほど前に、中国黄河地方でつくられたものです。日本の俳句の中には、時候の挨拶や描写等に良く使われています。なお、24 節気は、太陽の黄道上 0 度を起点とした 15 度ごとの合計 24 の位置に対応しています。7 2 候は、季節の移り変りを示す身近な自然現象を用いて、24 節気をさらに「初候、二候、三候」へと細分したものです。(以下の表は、インターネットや俳句歳時記に掲載されているものを参考にしてまとめたものです。尚、PC にフォントが無い文字がいくつかありますが、? にてその箇所を示しておきました。)

四季			
節気名	季節	日付	太陽黄経 (度)
7 2 候 (初候、二候、三候)			
春			
立春	正月節	2月 4日	315度
			東風解凍(はるかぜこおりとく)、黄鶯?睨?院(うぐいすなく)、魚上氷(うおこおりをいずる)
雨水	正月中	2月 18~19日	330度
			土脈潤起(つちのしょううるおいおこる)、霞始靄(かすみはじめてたなびく)、草木萌動(そうもくめばえいずる)
啓蟄	2月節	3月 5~6日	345度
			蟄虫啓戸(すごもりむしとをひらく)、桃始笑(ももはじめてさく)、菜虫為蝶(なむしちょうとなる)
春分	2月中	3月 20~21日	0度
			雀始巢(すずめはじめてすくう)、桜始開(さくらはじめてひらく)、雷乃発声(かみなりすなわちこえをはつす)
清明	3月節	4月 4~5日	15度
			玄鳥至(つばめきたる)、鴻雁北(こうがんかえる)、虹始見(にじはじめてあらわる)
穀雨	3月中	4月 20~21日	30度
			穀始生(ふきはじめてしょうず)、霜止出苗(しもやんでなえいずる)、牡丹華(ぼたんはなさく)
夏			
立夏	4月節	5月 5~6日	45度
			元龍始鳴(がまはじめてなく)、蚯蚓出(みみずいずる)、竹簍生(たけのこしょうず)
小満	4月中	5月 21日	60度
			蚕起食桑(かいこおきてくわをはむ)、紅花栄(べにばなさく)、麦秀至(むぎのほでる)
芒種	5月節	6月 5~6日	75度
			蟪蛄生(かまきりしょうず)、腐草為螢(ふそうほたるとなる)、梅子黄(うめのみきばむ)
夏至	5月中	6月 21~22日	90度
			乃東枯(かこそうかるる)、菖蒲華(あやめはなさく)、半夏生(はんげしょうず)
小暑	6月節	7月 7~8日	105度
			温風至(あつかぜいたる)、蓮始華(はすはじめてひらく)、鷹乃学習(たかすなわちわざをなす)
大暑	6月中	7月 22~23日	120度
			桐始結華(きりはじめてはなをむすぶ)、土潤溽暑(つちうるおうてむしあつし)、大雨時行(たいうときどきにふる)
秋			
立秋	7月節	8月 7~8日	135度
			涼風至(すずかぜいたる)、寒蟬鳴(ひぐらしなく)、蒙霧昇降(さかんにきりしょうこうす)
処暑	7月中	8月 23~24日	150度
			綿析開(わたのはなしべひらく)、天地始肅(てんちはじめてさむし)、禾乃登(いねすなわちのぼる)
白露	8月節	9月 7~8日	165度
			草露白(くさのつゆしろし)、鶉鳴(せきれいなく)、玄鳥去(つばめさる)
秋分	8月中	9月 23日	180度
			雷乃收声(かみなりすなわちこえをおさむ)、蟄虫坏戸(むしかくれてとをふさぐ)、水始涸(みずはじめてかる)
寒露	9月節	10月 8~9日	195度
			鴻雁来(こうがんきたる)、菊花開(きくのはなひらく)、蟋蟀在戸(こおろぎとにあり)
霜降	9月中	10月 23~24日	210度
			霜始降(しもはじめてふる)、雲時施(こさめときどきふる)、楓鶯黄(もみじつたきばむ)
冬			
立冬	10月節	11月 7~8日	225度
			山茶花始開(さざんかはじめてひらく)、地始凍(ちはじめてこおる)、金盃香(きんせんかさく)
小雪	10月中	11月 22~23日	240度
			虹藏不見(にじかくれてみえず)、朔風弘葉(きたかぜこのをはらう)、橘始黄(みかんはじめてきばむ)
大雪	11月節	12月 7~8日	255度
			閉塞成冬(そらさむくふゆとなる)、熊蟄穴(くまあなにこもる)、鮭?魚群(さけむらがる)
冬至	11月中	12月 21~22日	270度
			乃東生(なつかれくさしょうず)、麋角解(おおしかのつのおつる)、雪下麦出(ゆきのしたむぎいずる)
小寒	12月節	1月 5~6日	285度
			芹乃采(せりすなわちさかう)、水泉動(すいせんうごく)、雉始鳴(きじはじめてなく)
大寒	12月中	1月 20~21日	300度
			疑冬華(ふきはなさく)、水沢復堅(すいたくあつくかたし)、鶉始乳(にわとりはじめてつるみす)